



理事長挨拶

寺門 敏子

あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、まだ経験したことのないコロナ禍の中、大変不自由なまた、不安定な一年をどのように乗り越えられましたでしょうか。

旧年中は温かいご支援、ご協力をいただきましてありがとうございました。役員、事務局員一同心からお礼申し上げます。

昨年はやらなければいけないことがたくさんある中で、4月から目に見えないコロナと戦いながら、1つ諦め、1つ延期してこの紙面にあるような子どもたちとの日々の「手洗い」「うがい」「マスク」の着用を声かけしながら、不自由な中にも楽しみを見つけて元気な笑い声の中で過ごせたことは、本当に幸せなことだったと思います。

世の中厳しく暗いニュースが多い中、我がビーイングには、紙面掲載にございますように、寄附という形の温かいお心をたくさんお寄せいただきました。これは会員皆様の変わらずご協力いただいた、18年間を評価いただいたものと思います。またこれからも「頑張り」というエールと受け止め、初心を忘れることなく、この厳しい状況に屈することなく、守るべきは守り、そしてビスコーサの子どもたちを全力で守り、笑い声の絶えない施設を目指していきたいと思います。

ビスコーサの郷(さと)にはもうすぐ厳しい雪がたくさん降ります。ホイールローダーという雪かき車がどっしりと来るべき雪対策のために準備されています。

子どもたちの成長もめざましく、会の始まりや終わりのあいさつも自分のことばで立派に伝えることができるようになり、職員一同の励みになっております。

昨年、ビスコーサの郷は指導員の頑張りもあり、野菜、果物の豊作に歓声を上げ、子どもたちと食事会等で収穫の喜びを共有し、感謝の心で頂きました。

来る年もこの恵まれた自然の中で、この子どもたちの笑顔や、歓声の中で安心な日々を送りたいものと念じております。

昨年に引き続き皆様の温かいご支援ご協力、よろしく申し上げます。

(令和2年12月15日)

ご寄附をいただいた皆様 (順不同。敬称略させていただきました)

秋田県大館食の祭典 村川征子 根本俊夫 東北税理士協同組合 田中ミヤ子
島順子 東北労働金庫秋田県本部 であいのこんさーと 高橋光 今野幸朗 前田貞一

寄附金の贈呈

○令和2年11月13日(金)ホテルメトロポリタン秋田にて、東北税理士協同組合様から50万円の御寄附を頂きました。理事長に副理事長2名が同行し、大変ありがたく頂戴いたしました。大事に使わせていただきますというお礼の言葉を述べてきました。



○令和2年12月11日(金)東北労働金庫秋田県本部 2階会議室にて寄附金贈呈式があり理事長が出席しました。10万4千円をありがたく頂戴してきました。

長年のピーニングの活動が認められた結果だと感謝申し上げます。



であいのこんさーとだより

今年のコロナ禍で「であいのこんさーと」も例外にもれず11月3日は中止になりました。しかしメンバーの思いは強く、いろいろな形で思いを発信し、その思いは我がビーイングにも、パンジーの花とともに届けられました。

「航海日誌」という通信には、仲間の熱い思いや、これからの夢が語られ、その息遣いまでもが伝わってくるようで、私たちもコロナに負けないで頑張ろうという気にさせてくれました。「幸せの青い花」の取材にも来ていただき、ビデオレターとしてお送りくださるそうです。

来年は10月10日(日)に決まったそうです。またみんなでご参加いたしましょう。

ドミノ寄贈に寄せて

昨年10月ビスコーサの郷に約300個のドミノが寄贈されました。

このドミノは小野地区の高橋光氏からのもので、屋敷の大きな木を切った際に何か子どもたちの役に立つものとして残せないかという思いで作られたものです。一つ一つ色を塗り、仕上げの塗料を塗った縦18cm、横11cmの手作りのものです。

このドミノと私が初めて出遭ったのは、5年前の「チャレンジデー」の時で、「オービオン」の2階から下のフロアに約1500個のドミノが並べられました。参加した住民たちはもちろん、子どもたちも声を発することもなく、高校生も真剣に全員心一つになって一つ、一つ並べていきました。

そして「チャレンジデー」も終わりに近づいたころ、全員で固唾をのんで見守る中「カタカタ」と心地よい音を立てて倒れていきました。最後には、「わー」という歓声が館内一杯に響き渡りました。手を取り合う人、抱き合って喜ぶ人、私はあの日の感動が忘れられなく、いつか「ビスコーサ」の子どもたちにもあの感動を体験させたいと思っていました。

いつかコロナが収束したときには、大いに密になり、大歓声を上げ、手と取り合い、ハグをして、皆で乗り越えた喜びをこのドミノに託したいと願っております。

本当にゆめのあるものをいただき、感謝申し上げます。

(寺門記)



新職員紹介

11月からお世話になっております、四児の母、石垣亜子いしがきあこです。以前はこども園、放課後児童クラブ、施設での勤務をしていました。

私にも発達障害をもつ子どもがいます。ビスコーサ利用者の保護者の皆様と共感できる部分があると思います。

子どもたちとは一人一人と向き合い、笑顔がたくさんの日々にしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



子どもたちの活動

本場大館きりたんぼ宣伝事業
令和2年10月3日



大館食の祭典協議会さんの主催で、本場大館きりたんぼをわざわざ小野まで出張いただき、作ってもらいごちそうになりました。提供してくださったのは「ベニヤマきりたんぼ工房」さんで、何回もグランプリや準グランプリを受賞されている有名店です。当日は50名近くの参加者があり、本場の比内地鶏を使った美味しいきりたんぼを賞味させていただきました。

ビスコーサファームでの収穫
令和2年11月



サツマイモの収穫



編集後記

前回のビーイングだよりで児童書・マット・ゲームなど使っていないもののご寄附をお願いしたところたくさんの品物が届きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。